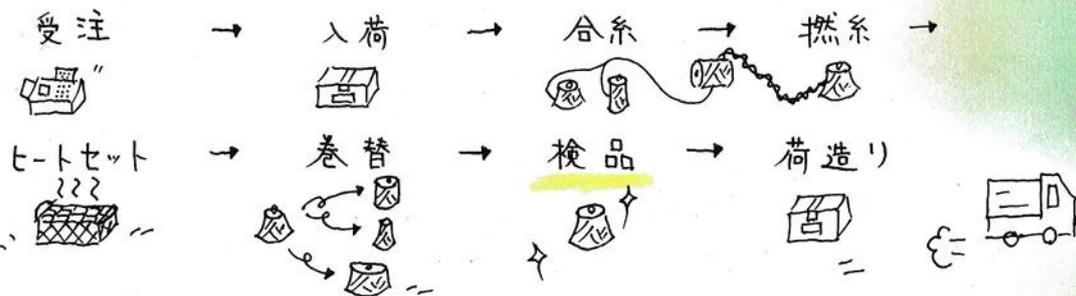


Binnen news vol. 33 2020.5

いつも びんぬんニュースを読んで頂きありがとうございます。
今回は、検品についてです。



検品とは、上記の図に沿って行ってきた作業に問題がないか最終確認をする工程となります。この工程で不良の糸が見つかったら修正して再び検品を行います。

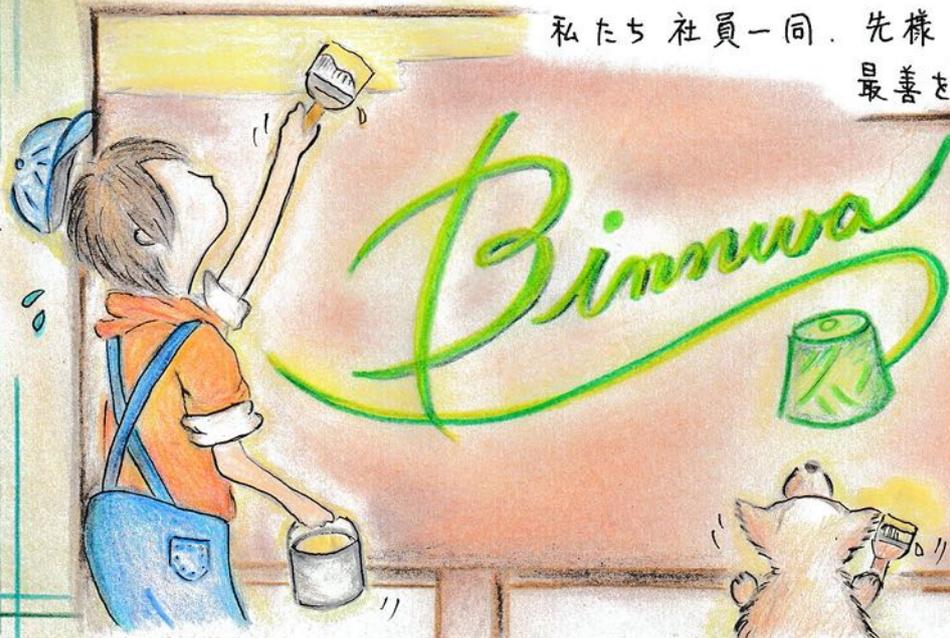
では、検品工程で下記の項目を確認します。

- ① 目方が適正かどうか
- ② 巻き硬度が適度かどうか (硬すぎたり柔らかすぎたりすると再び巻き替えを行います)
- ③ 汚れや異なる色の糸が混入していないか
- ④ 風綿や糸クズなどの混入がないか
- ⑤ 撚りが掛かっていないところ、又は、掛かりすぎているところがないか
- ⑥ 綾落ちなどしていないか (綺麗に最後まで糸が解除するか?)
- ⑦ テール(尻糸)がついているか
- ⑧ ヒートセットが効いているか (ビリがなくなっているか?)

この検品は1本ずつ手にとって確認しています。

この検品を通過した糸が最終的に荷造りされ、染色屋さんやサイジング屋さん、機屋さん、編立屋さんなどに出荷されます。

私たち社員一同、先様の使い易さを考え、
最善を尽くして参ります。



備後撚糸株式会社

Tel 084-958-3355 (代表)

Fax 084-958-3358

<http://binnen-washiito.com/> (備和)

